

農地利用の最適化の推進に関する申し合わせ決議

本県の農業委員会組織にあつては、地域における貴重な資源である農地の確保と有効利用を図り、将来に引き継いでいくため、「愛知の農業委員会活動活性化運動」に取り組み、地域農業の持続的な発展に向けて邁進している。

とりわけ令和元年度以降、農業委員・農地利用最適化推進委員は、「人・農地プラン」を実質化するため、「農地所有者等の意向把握」と「集落での話し合いへの参加」に積極的に取り組んできた。

そうした中、令和3年5月に国が取りまとめた「人・農地など関連施策の見直し」において、「人・農地プランの法定化」、その際の「農業委員会が現場で収集した農地等情報の活用」、「農地バンクの貸借の運用の抜本的見直し」等が見直しの基本方向として位置付けられ、その後、さらに具体的な施策の対応方向が検討され、それらを踏まえて今後、法改正を始め必要な措置が進められていく見込みである。

今後は、こうした流れを見据えながら、農地利用最適化活動の強化と見える化、「目標地図」の作成等法定化を踏まえた「人・農地プラン」に係る取組の一層の推進、農地中間管理事業を通じた農地の集積・集約化の更なる促進など、「新たな農地利用の最適化」に取り組むため、下記事項について、ここに申し合わせ決議する。

記

1 農業委員会の体制整備

- ・農地利用の最適化を進めるため、地域における農業委員と農地利用最適化推進委員の役割分担を明確に定めた上で、その役割に即して密接に連携しよう
- ・「農地利用最適化推進指針」の見直しを進め、地域の実情を踏まえた実効性の高い「年度別活動計画」を策定し、全ての農業委員及び農地利用最適化推進委員が一体となった取組を進めよう
- ・市町村農業振興部局、農地中間管理機構及びJA、担い手、土地改良区などの地域の関係機関・団体との連携及び情報の共有化を一層強めよう
- ・農地の利用意向等の情報を確実に農地中間管理機構と共有し、「地域まるっと中間管理方式」の導入を始め、農地中間管理事業を通じた農地の集積・集約に結びつけよう

2 農業委員及び農地利用最適化推進委員による現場活動の展開

- ・農業委員及び農地利用最適化推進委員による現場活動を着実に進めていくため、「農地の見守り活動」や「農家への声掛け活動」等の日常活動を「新たな農地利用の最適化」活動の起点として位置付けて取り組もう
- ・担当区域内的の農地パトロール等による正確な農地情報の把握と戸別訪問などを通じた農業者の意向の把握に、タブレット端末も活用しながら取り組もう
- ・「人・農地プラン」の作成・見直しや「目標地図」の作成に向けた地域の話し合いなどを主導するとともに、出し手と受け手の農地のマッチングなどプラン実行のための現場活動を積極的に進めよう
- ・活動の見える化を更に進めるため、現場活動の取組を活動記録簿に記帳し、定期的に集計・点検・評価するとともに、その結果を公表し、農業委員会活動への周知と理解の増進に努めよう

3 農業委員会活動の充実・強化

- ・農業委員会活動の的確な点検・評価を行うとともに、活動内容の見える化を更に進めよう
- ・両委員の現場活動を支える農地利用最適化交付金を活用しよう
- ・新規就農者や女性農業者を含めた意欲ある担い手を支援しよう
- ・地域の実情を踏まえた政策提案活動に取り組もう

令和4年3月29日

一般社団法人愛知県農業会議臨時総会